

【ケーススタディ 1】 ベトナム出身・ヴィンさんの場合

◆ヴィンさんのプロフィール◆

- ・出身国：ベトナム ・性別：男性 ・年齢：20歳代後半 ・在留資格：技能実習
- ・日本に住んでいる年数：1年 ・一緒に住んでいる家族：なし

わたしはヴィンです。日本に来て1年です。金属加工工場で働いています。技術も学べるし、日本語も上手になるかなと思って日本に来たのですが、日本語は苦手です。

なぜなら日本語の先生が職場にはいませんし、工場では日本人が少ない時間帯に働くことが多く、日本語を話すチャンスがないです。勉強したいけど、仕事でいつも疲れていて時間がありません。



一度、ある日本語教室に行きました。でもそこはとても遠くて自転車で片道2時間もかかったのでもう行きたくありません。バスに乗ることも考えたけど、バスはどこへ行くのかわからないから乗るのが怖いです。休みの日もやっている日本語教室がないか調べてみたけど、市のホームページは日本語と英語でだけ書いてあり、よく分かりませんでした。日本語が上手に話せないので、役場に電話で相談することもできません。



アパートに住んでいて困ることもあります。ある日、ごみを捨てに行ったら、おじさんから「だめ！今日は捨ててはいけない！」と怒られました。怒られたので「ごめんなさい」と言って、ごみは持って帰ってきたけど、数日たって嫌なおいがしてきました。

考えてみよう

【ケーススタディ1】

ベトナム出身・ヴィンさんの場合

ヴィンさんはどんな気持ちで毎日を過ごしているでしょうか？

ヴィンさんが必要としているサポートはどんなものでしょうか？

あなたがヴィンさんの友達なら、何かできることはあるでしょうか？

【ケーススタディ 2】 ネパール出身・クリシュナさんの場合

◆クリシュナさんのプロフィール◆

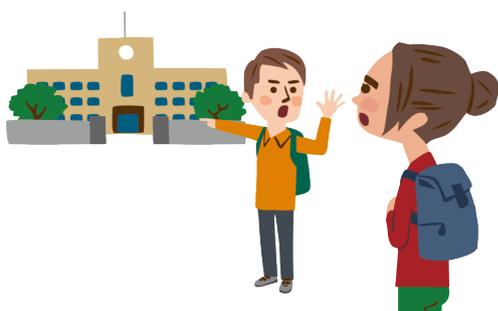
- ・出身国：ネパール ・性別：女性 ・年齢：20歳代前半 ・在留資格：留学
- ・日本に住んでいる年数：4年 ・一緒に住んでいる家族：なし

私はクリシュナです。2014年に日本へ来ました。2年間日本語学校で勉強して、今は大学に通っています。

大学生活にも慣れ、楽しく過ごしていたある日、大きな地震に遭いました。あれは私にとって日本で初めての大災害でした。日本でよく地震が起こることは知っていました。でも実際に地震が起きたあのときは、何をすればいいのかわかりませんでした。



スマートフォンを使って情報を集めようとしたのですが、「緊急」「避難」「余震」「倒壊」、、、意味がわかりませんでした。わからないけれど家の中にいるのは怖かったので近所の公園へ行きました。数時間後、公園の前を通りかかった人に「避難所へ行ってください」と言われました。



その人と一緒に行くとそこは近所の小学校でした。たくさん人がいました。みんな家から逃げてきたようでした。ああ、これが避難所かとその時やっとわかりました。避難所にはいろいろな貼り紙がありました。意味がわかるものもあればわからないものもありました。その避難所には知り合いもいませんでしたから、ただずっと座っていました。

夜になると食事が用意されました。近くにいた日本人が「あそこでカレーライスがもらえますよ」と教えてくれました。でも私はそれを食べられませんでした。

考えてみよう

【ケーススタディ2】

ネパール出身・クリシュナさんの場合

クリシュナさんが地震の時に困ったことはどんなことだと思いますか？

どうしてそんな困ったことになってしまったのでしょうか。どんな理由があると思いますか？

想像してください。クリシュナさんがあなたの家の隣に引っ越してきました。災害に備えてあなたとクリシュナさんができることはありますか？

【ケーススタディ 3】 インドネシア出身・プトリさんの場合

◆プトリさんのプロフィール◆

- ・出身国：インドネシア ・性別：女性 ・年齢：11歳（小学5年生）
- ・在留資格：家族滞在 ・日本に住んでいる年数：3年
- ・一緒に住んでいる家族：父、母、弟（9歳）

私はプトリ。お父さんの仕事で8歳から日本に住んでいます。私たち家族はイスラム教徒です。4月から5年生になり、新しいクラスになりました。

今、学校で悩んでいることがあります。ひとつは給食です。友達は給食、私はお母さんが作ってくれたお弁当を食べます。友達からは「嫌いなものを食べなくていいからうらやましい！」

「プーちゃんだけずるい！」と言われました。前のクラスの友達が、説明してくれましたが「へんなの！」と言われました。



もうひとつは、今年から「ヒジャブ」というスカーフで髪をかくしなさいとお母さんに言われたことです。今まではつけなくてもよかったのに。なんで？とお母さんにきいたら大人の女性はつけるものだってきまってるそうです。



体育の時も体操服もみんなとは違うし、水泳は見学しかできません。弟は水泳の授業は特別な水着をきて参加していますが、友達にからかわれています。

考えてみよう

【ケーススタディ3】

インドネシア出身・プトリさんの場合

あなたが知っている宗教を全部書き出してください。

このお話を読んで、問題だと思うことを考えてみましょう。

あなたがプトリさんだったら、この悩みに対し、どう行動しますか？

【ケーススタディ 4】 ブラジル出身・ヒカルドさんの場合

◆ヒカルドさんのプロフィール◆

- ・出身国：ブラジル ・性別：男性 ・年齢：30歳代
- ・在留資格：定住者（日系3世） ・日本に住んでいる年数：4年
- ・一緒に住んでいる家族：妻、子

私はヒカルドです。私のおじいちゃんは日本人で、昔ブラジルに来て私のおばあちゃんと出会い結婚しました。私はおじいちゃんの国の日本の文化が大好きで、日本に行くことに憧れていました。一生懸命働いて、日本に行くお金を貯めました。

念願叶って日本に来た最初の1年は日本語学校に行きました。日本語を一生懸命勉強したので、卒業後は日本の食品加工工場で働くことができました！ 仕事が決まったので、ブラジルにいる妻を日本に呼びました。今は、生まれたばかりの息子もいます。



日本語の学校にも行ったので、日本語の会話は不自由がありません。でも、漢字が多い文章を読むのはまだまだ難しいです。仕事でも少し難しい漢字が出てくると、同僚に聞かないといけません。同僚は「ガイジンだからしょうがないな」と言います。あと、子どもが生まれたばかりなので、早く帰りたいのに、残業をお願いされ断ると「責任感がない」など言われました。



そんな中、世界中で混乱を起こしている新しい感染症が原因で、工場への仕事の依頼が激減しました。私は、今までの半分の出勤でいいそうです。日本人の同僚は今までと同じ出勤なのに…。当然、お給料も減ります。このまま仕事がなくなったら、妻と子どもと、この日本でどうやって生きていけるのでしょうか。

考えてみよう

【ケーススタディ4】

ブラジル出身・ヒカルドさんの場合

この事例を読んで「問題点かな？」と思う部分を考えてみましょう。

あなたがヒカルドさんだったら、毎日何を思っているでしょうか？

あなたがヒカルドさんのお友達だったら、何をしますか？

【ケーススタディ 5】 あなたのまち出身・山田さんの場合

◆山田さんのプロフィール◆

・居住地：あなたのまち ・性別：女性 ・年齢：50歳代 ・仕事：主婦

◆外国人家族（スミスさん）のプロフィール◆

夫（30歳代・語学講師）、妻（30歳代・主婦）、長女（8歳・小学生）、長男（2歳）

半年前、近所に外国人のご家族が引っ越してきました。お名前は...何だったかな。私昔から英語が苦手な直接お話ししたことはないんですけどね。

これは自治会長さんの奥さんが言ってたんですけど、まだ自治会費を納めてないそうなんです。会長さんが自治会への加入と会費納入のお願いへ行っただけですが「なぜ？義務なのか？」と言われて、支払ってもらえなかったらしくて。

自治会費って、私たちの街ではごみ捨て場の設置や維持、街灯の修繕など地域のみんなのために使っているんですが...。ごみといえば、月に1回地域の清掃活動をしているんですけど、一度もあのご家族をお見かけしたことがありません。

でも夏祭りには来ていました。あのご家族には小学生のお子さんがいらっしゃるんですけど、その子のお友達が誘ってあげたそうなんです。良いですね、子ども同士誘い合えるのは。でも、その祭りも自治会でやっているものなんです。ご両親には運営の方を手伝っていただけたら助かったんですけどね。

私は自治会のお知らせを作って配る係だから、いつもその家のポストに色々な案内を入れに行っています。でも、自治会でやっている登下校時の子どもの見守りにも参加していないって聞きました。案内は出しているのに...

どうして何もやっていただけないのでしょうか。



考えてみよう

【ケーススタディ5】

あなたのまち出身・山田さんの場合

山田さんはスミスさん一家のどのようなことを問題だと思っていますか？

スミスさんはどうしてそのようなことをしているのでしょうか？

あなたは山田さん、スミスさんと同じ町に住んでいます。この状況をどうしたいですか？そのために何をしますか？